

VII 研究発表業績

1 学会等研究発表

年月日	学会等の名称 (開催地)	演 題	発表者
平成 27 年 5 月 30 日	第 17 回マリンバイオテクノロジー学会 (東京都)	霞ヶ浦の富栄養化とアオコの発生	大内技師
6 月 18~19 日	第 21 回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会 (福岡市)	銚田川の窒素濃度が上昇した機構に関する考察	大内技師
6 月 24~26 日	第 24 回環境化学討論会 (札幌市)	環境水から検出されたフェニルヒ素化合物の物性について	菅谷室長
7 月 24 日	新たな水環境基準 (透明度, 底層 DO 等) の導入に向けた動きとそれに対応したモニタリング・研究のありかた (つくば市)	霞ヶ浦における透明度と 底層 DO 濃度の観測について	神谷主任
9 月 14~16 日	第 18 回水環境学会シンポジウム (長野市)	霞ヶ浦流域における原単位に係る課題と調査について	神谷主任
10 月 23 日	全環研関東甲信静支部水質専門部会 (長野市)	ハス田からの汚濁負荷削減技術の検討	吉田主研
		霞ヶ浦湖底における藍藻 <i>Microcystis</i> の分布	長濱技師
10 月 26 日	農業農村工学会関東支部大会講演会 (つくば市)	異なる土地利用の蓄積窒素の動態に関する研究*	菅谷室長, 大内孝技師 (共同研究者)
11 月 13 日	全環研関東甲信静支部大気専門部会 (静岡市)	茨城県における光化学オキシダントの高濃度現象に関する研究	前田主任
12 月 1~2 日	第 42 回全環研環境保全・公害防止研究発表会 (東京都)	霞ヶ浦の水質変動について	中川技師
		茨城県における有害大気汚染物質の動向について	櫻井主任
平成 28 年 2 月 27 日	霞ヶ浦流域研究 2016 (行方市)	霞ヶ浦における底層の溶存酸素濃度の挙動	神谷主任

3月16～18日	第50回日本水環境学会年会 (徳島市)	霞ヶ浦水質の長期変動について	菅谷室長
		近年の潤沼の水深と塩化物イオン濃度の変動の関係について	吉田主研
		霞ヶ浦における底泥リン濃度の6年間の変化について	神谷主任
		銚田川流域における窒素投入量の推定及び窒素収支	大内技師
		近年の霞ヶ浦におけるCODと藻類種の関係性について	中川技師
		霞ヶ浦底泥におけるアオコ形成藍藻 Microcystis のDNA分布と季節変化	長濱技師
		磁気分離を応用した直接浄化施設導入による土浦港の水質改善効果 (II)	若山流動研究員
		流域における窒素循環の長期予測に向けたモデリング手法の確立	大内技師 (共同研究者)

2 誌上発表

題 名	執 筆 者	掲 載 誌
霞ヶ浦に入射した光の減衰に対する懸濁物質の影響－光減衰機構の長期的変遷－※	中村剛也, 相崎守弘	陸水学雑誌, Vol.77, No.1(2016)
磁気分離を利用した浄化施設の導入による土浦港の水質改善に関する検討	菅谷和寿, 若山勝彦, 桑名美恵子, 相馬久仁花 ¹	環境浄化技術, Vol.15, No.1(2016)

※：査読付き論文